

ヘレン・ケラー

～ひびき合うものたち～

バリアフリー演劇は、舞台後方の字幕とライブで役者の動きなどを俳優が説明する音声ガイドに加え、舞台衣装をまとった手話通訳者が役者と連動しながら舞台上で通訳します。
事前資料貸出し ご希望の方に事前に上演台本を貸し出します。

昨年、「バリアフリー演劇」をここ博多で開催しました。色々な障害がある人たちと、みんなと一緒に芝居を鑑賞ができて、心の底から感動いたしました。

舞台上では、様々な合理的配慮が行われて、そのすべてが演出として生かされていて立体感のある芝居に感動をしました。役者たちも、観客の一人一人の呼吸に呼応する様に舞台を作り上げていきました。そこに集う人たちが自分のリズムで起こす、予定調和でない拍手や声などが、芝居の質を高めているようにさえ感じました。

昨年から、10年間、毎年、頑張って開催していきたいと宣言いたしましたが、今回がその2回目です。

ぜひ、昨年ご覧になった方も、今回、初めての方も、どうぞ誘いあわせの上お出かけください。

私たちは、「共に生きる」とよく言います。しかし、芸術や文化を共有することをせずして、そういう社会を作ることは難しいのではないかと考えるようになりました。そして、今では、芝居の中で共に経験することこそが、私たちに必要な「共感力」を育んでいくものだと確信するようになりました。

年末のお忙しい中で恐縮ですが、会場まで足を運んでいただければ幸いです。

権藤 説子

Story

幼少期の病のため、聴力・視力を失い、話すこともできないヘレン・ケラーと困り果てた家族のもとに、新米の家庭教師アニー・サリバンが訪れる。情熱的に教えようとするも、ヘレンに拒絶され続けるアニーは、周囲と離れ2人きりで生活することを決意する。与えられた時間は2週間。失敗を繰り返しながらお互いを求め、理解し、身体ごとぶつかり合う対話から世界を広げていく2人の出会いを描く「東京演劇集団風」の代表作です。

作	松兼 功
演出	浅野 佳成
バリアフリー演劇 総合監修	尾上 浩二
バリアフリー演劇 芸術監督	北岡 賢剛

[出演者]

ヘレン・ケラー	倉八ほなみ
アニー・サリバン	高階 ひかり
アーサー・ケラー	酒井 宗親
ケート・ケラー	仲村三千代
ジェイムス・ケラー	中村 滋
アナグノス校長	柳瀬 太一
医者	坂牧 明
ビニー	清水菜穂子
パーシー	稲葉 礼恵
舞台手話通訳	小島 祐美
音声ガイドナレーター	辻 由美子

[ヘレン・ケラー 制作スタッフ]

音楽	小室 等
舞台美術	上田 淳子
照明	坂野 貢也
音響	酒見 篤志
舞台監督	佐田 剛久



舞台説明

サポート内容、舞台装置や広さなどを説明・出演者が役柄や衣装を紹介し



舞台手話通訳

物語の進行に合わせ舞台上を動きながら通訳を行います
(右:舞台手話通訳)



バリアフリー字幕・ライブ音声ガイド

舞台中央に日本語字幕を投影／音声ガイドが客席内に流れます

[バリアフリー版 制作スタッフ]

監修 大河内直之(東京大学先端科学技術研究センター特任研究員、特定非営利活動法人バリアフリー映画研究会理事長)

廣川 麻子(特定非営利法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク(TA-net)理事長、東京大学先端科学技術研究センター熊谷研究室)

バリアフリー日本語字幕・音声ガイド制作 Palabra株式会社

プロデュース 山上徹二郎

観劇申込について

FAX申込用紙

◆電話とFAXおよびメールで受け付けております。

FAX 099-295-3699・TEL 080-7701-5336 mail: shien.net.japan.s@gmail.com

◆下記にご記入の上FAXでお送りいただくか、お電話にてお申し込み下さい。※電話受付は平日10:00～17:00まで

ふりがな
お名前

申込人数

名

TEL

FAX

先行入場(12:30)等を配慮いたします。

障害の有無、お差し支えなければ種別をご記入ください。(あり ・ なし / 障害の種別)

その他、特に配慮・サポートを必要とする事項などがありましたらご記入ください。